

情報通信技術とIT経営革新

～情報化投資効果とIT経営力を活かした実践技術について～

参加のお勧め

企業では、ビジネス環境が激変する現代において、ますます高性能化、低廉化する情報通信技術を駆使して、適切な情報化を推進しつつ、社会的存在として組織を維持・発展させることが求められています。しかしながら、どのような観点から「IT経営」を捉えるか、そしてIT経営の目標を実現するための組織が発揮すべき能力「IT経営力」とはどのようなものであるかについては、具体的な指標がないというのが現状です。

つきましては、今回のシンポジウムではIT経営力の考え方について、昨今の情報通信技術をめぐる環境変化と、企業の諸活動・情報通信技術の関わり方でのIT経営事例を関西大学の古賀広志様にご講演いただきます。

次に、ITによる経営革新についても新たな視点で課題領域（フィールド）を捉え可視化、全体最適化、継続的改善を通じて、イノベーションを推進する事例を株式会社富士通総研の徳丸嘉彦様にご講演いただきます。

ご講演の後、広島工業大学の久保田洋志教授にコーディネーターをお願いし、参加者と講演者との質疑応答も組み込みましたパネル討論を行うこととしています。

本シンポジウムが、情報通信技術による経営革新の課題解決にいささかでも役立てば幸いです。皆様の積極的な参加を、お待ちしております。

-IT経営-

ITの高度な利活用によって経営戦略を遂行し、企業の生産性を高めて競争力を強化すること。

-IT経営力-

社会的コンテキストとの相補的關係性を重視することによってIT資源を効率的・効果的に組み合わせ、組織有効性を向上させて組織体の維持発展と同時に情報化社会の健全な進展に資するための動的な組織能力である。

日 時：2008年9月26日(金) 13:30～17:00

会 場：広島インテスビル 14階 会議室

広島市中区橋本町10-10 TEL (082) 221-8866 (代表)

主 催：中国地区品質経営協会

■プログラム

時 間	内 容
13:30～13:35	開会挨拶 中国地区品質経営協会
13:35～14:35	講 演「情報通信技術の変遷とIT経営力実践」 関西大学 総合情報学部 准教授 古賀 広志 氏
14:35～14:45	－ 休憩（10分）－
14:45～15:45	講 演「企業革新体質」確立のために ～人を主役にしたプロセスとITの一体化～ 株式会社 富士通総研 取締役 徳丸 嘉彦 氏
15:45～15:55	－ 休憩（10分）－
15:55～16:55	パネル討論 コーディネーター 広島工業大学 工学部 教授 久保田 洋志 氏
16:55～17:00	閉会挨拶 中国地区品質経営協会

■講演概要

「情報通信技術の変遷とIT経営力実践」

今日、情報通信技術の活用は、企業経営において必要不可欠であり、その活用の優劣が企業業績を大きく左右するという指摘さえ見受けられる。確かに同様の情報通信技術を導入したとしても、その効果は組織によって千差万別と言えます。そこで、そのような差異を生み出す論理について「IT経営力」という切り口から説明します。IT経営力とは米国を中心に精力的に研究されている「組織能力論」を発展させた考え方です。しかし、「鬼に金棒」という諺をイメージしていただいた方が分かりやすいかも知れません。つまり、「IT経営力」とは企業（鬼）が情報通信技術（金棒）を駆使するための論理を探ろうという考え方なのです。この限りにおいて、鬼のような力がなければ、金棒に振舞わされるだけに終わると言えるかもしれません。IT経営力の考え方を理解していただくために、まず昨今の情報通信技術を巡る環境変化について解説を行った上で、企業内部の諸活動と情報通信技術の関わり方について考察を行い、いくつかの事例を通じて、IT経営の成功の鍵を明らかにしていきます。

◆古賀 広志 氏

略歴

- 1967年 福岡県生まれ
- 1990年 神戸商科大学商経学部管理科学科卒業
- 1995年 神戸商科大学大学院経営学研究科博士課程単位取得退学
- 1996年 神戸商科大学商経学部管理科学科助手
流通科学大学情報学部専任講師を経て
関西大学総合情報学部助教授
- 2007年 関西大学総合情報学部准教授

「企業革新体質」確立のために ～人を主役にしたプロセスとITの一体化～

ITへの依存度が高まるにつれてITのブラックボックス化が進んでいる。ここに来てITありきの発想から人を中心にした発想が必要になってきている。また、ITが不可欠な存在であると同時にその性能・機能が高度化する中でITの価値を最大化させることがより難しくなっていることも事実である。一方、経営環境変化は一層激しくなり、企業はその場しのぎの業務改革では追いつかず、企業自体の革新体質の確立が求められている。そこで「現場で発生している事実気付いた人は革新への意識が高まり、新たな発想で実現可能性の高いプロセスを生み出すことが出来る。そこに適切なITを活用することによって、人とプロセスとITが一体化し、企業革新を継続できる体質を確立できる」という考え方＝「フィールド・イノベーション」が生まれた。

本講演では、「フィールド・イノベーション」を具体事例をベースにご紹介します。

◆徳丸 嘉彦 氏

略歴

1978年に富士通株式会社入社。

- ・システム開発部門所属。
プログラム設計・開発、システム設計・開発、プロジェクト管理に従事。
- ・Fujitsu systems Business of Americaに創設メンバーとして赴任。
日米輸送管理システム開発プロジェクト米側リーダーとして従事。
- ・システム企画コンサルティング部所属。
業務改革コンサルティングサービスの企画・開発・実施に従事。
- ・Fujitsu Australia Limitedに赴任。
富士通日本とのコーディネーション業務、現地法人との合併準備業務等に従事。
- ・コンサルティング事業本部所属。
経営管理、ITガバナンス、業務改革グループ統括責任者として従事。
- ・同本部副本部長に就任。
- ・富士通グループのコンサルティング機能の集約に伴い、株式会社 富士通総研へ異動。
- ・同社取締役役に就任。

得意分野

- (1) フィールド・イノベーション（人を主役としたプロセスとITの一体化）の実践コンサルティング
- (2) 経営戦略を実現し投資効果最大化を図る改革ロードマップ策定コンサルティング
- (3) ホワイトカラー生産性向上と価値創出のためのワークスタイルとIT活用マッチング案策定コンサルティング

資格

(旧) 通産省特種情報処理技術者、(旧) 通産省情報処理システム監査技術者

■コーディネーター紹介

◆久保田 洋志 氏

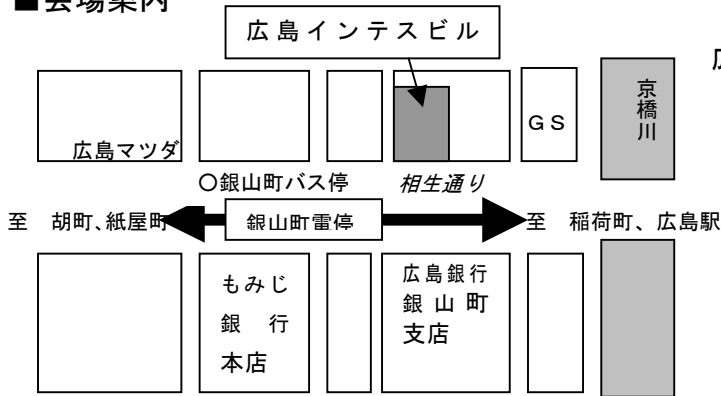
略歴

- 1972年 広島工業大学 工学部 経営工学科講師
- 1980年 広島工業大学 助教授
- 1998年 広島工業大学 工学博士
- 1999年 広島工業大学 工学部教授

主な役職

日本情報経営学会常任理事、デミング賞委員、日本品質管理学会副会長、日本情報処理開発機構 IT 経営力総合指標委員会委員、中国地区品質経営協会運営委員長

■会場案内



広島インテスビル14階 会議室(竹中工務店ビル)
〒730-0015 広島市中区橋本町10-10
TEL (082) 221-8866

JR広島駅から徒歩10分
バス停：銀山町(かなやまちょう)
電停：広島電鉄銀山町(かなやまちょう)

■参加要領

- 【定員】100名
- 【参加費】会員会社 無料 (非会員会社 3,000円/一人)
- 【申込締切日】平成20年9月17日(水)
- 【申込方法】申込用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAXまたはEメールでお願いします。

キリトリ

シンポジウム「情報通信技術とIT経営革新」参加申込書

お申込先： 中国地区品質経営協会行

TEL (082) 532-6844

FAX (082) 532-6845

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)

E-Mail qmac@a1.mbn.or.jp URL http://qmac.jp

会社名		お申込責任者：	
		TEL：	
		Eメール：	
住所(〒)			
参加者名		所属・役職	
参加者 (計名)		受付確認連絡 必要・不要	
参加費 (計円)		請求書発行 必要・不要	

*ご記入頂いた企業・組織及び個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。